



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月29日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
コード番号 2218 URL <http://www.nichiryo-pan.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 吉田 勝彦
問合せ先責任者（役職名） 取締役経理本部長（氏名） 那須 英幸 (TEL) 011-851-8188
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	9,115	2.5	182	△15.0	188	△15.9	118	△18.6
2024年3月期中間期	8,897	3.1	215	69.4	223	44.1	145	48.3

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	56.65	—
2024年3月期中間期	69.58	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	14,216	5,218	36.7
2024年3月期	14,214	5,189	36.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 5,218百万円 2024年3月期 5,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭（創業80周年記念配当）

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	2.9	300	9.4	300	3.5	180	△13.1	86.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	2,103,948株	2024年3月期	2,103,948株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	11,275株	2024年3月期	11,199株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	2,092,690株	2024年3月期中間期	2,093,058株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当中間期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当中間期の財政状態の概況	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 中間財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 中間貸借対照表	P. 4
(2) 中間損益計算書	P. 6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報)	P. 7
3. 補足情報	P. 7
販売実績	P. 7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)における北海道の経済環境は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより景気は緩やかな回復の動きが見られましたが、原材料価格の上昇や為替相場の変動、さらに人手不足や人件費の上昇等により先行き不透明な状況で推移しました。当業界におきましては、お客様の節約志向が強まる市場環境のなか、原材料価格の上昇やエネルギーコストの高止まりに加え、物流コストや人件費の上昇もあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針と、日々お客様へ安全・安心な製品を安定して供給する使命に基づき、科学的根拠に基づく感染防止対策に取り組みつつ日常業務の着実な遂行に努めてまいりました。また、生産、販売、管理の各部門における業務の見直しや諸経費の抑制に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、主力の「絹艶」、「イギリス食パン」はシリーズの品揃え強化と拡販に努めたほか、低価格食パンの「みんなの食パン アン」、バラエティブレッドの「デニッシュローフ」等が伸長し、前年同期の売上を上回りました。

菓子パン部門は、主力の「北の国のベーカリー」、「ずっしりデニッシュ」、「ふんわりこっぺW」の各シリーズが好調に推移するとともに、「クロワッサンバゲット」シリーズ等の新製品の寄与もあり、前年同期の売上を上回りました。

和菓子部門は、単品和菓子「菓彩堂」シリーズや「彩り三色ふかし」が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

洋菓子部門は、スナックケーキの「バイクドケーキ」シリーズや、8月に投入したチルドデザート「北海道のあふれるシュークリーム・エクレア」シリーズが寄与したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

調理パン・米飯部門は、7月リニューアルの常温バーガー製品が好調に推移したほか、「具たくさんおにぎり」シリーズや弁当製品が順調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、当中間会計期間の業績につきましては、売上高は9,115百万円(対前年同期比102.5%)、営業利益は182百万円(対前年同期比85.0%)、経常利益は188百万円(対前年同期比84.1%)、中間純利益は118百万円(対前年同期比81.4%)となりました。原材料価格や人件費、エネルギーコストの上昇に対応するため、売上拡大を含む様々な対策を講じましたが、コスト増加が予想を超え売上の伸びが追いつかず、減益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末における資産合計は14,216百万円で前事業年度末に対し2百万円増加しました。流動資産は4,692百万円で主に現金及び預金が591百万円増加し、売掛金が454百万円減少した結果、前事業年度末に対し169百万円増加しました。固定資産は9,524百万円で主に有形固定資産が123百万円、投資有価証券が65百万円減少し、繰延税金資産が29百万円増加した結果、前事業年度末に対し167百万円減少しました。負債合計は8,998百万円で主に長期借入金(1年内返済予定含む)が270百万円、未払法人税等が45百万円増加し、流動負債のその他が367百万円減少した結果、前事業年度末に対し26百万円減少しました。純資産合計は5,218百万円で主に利益剰余金が76百万円増加し、その他有価証券評価差額金が47百万円減少した結果、前事業年度末に対し28百万円増加しました。

この結果、当中間会計期間末における自己資本比率は36.7%、1株当たりの純資産は2,493円79銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、北海道経済は雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、景気の緩やかな回復が期待されますが、不安定な国際情勢や気候変動等の影響による物価上昇と、それに伴う消費者の節約志向の強まりにより、景気の先行きは不透明な状況が続くことが予想されます。当業界におきましては、お客様の節約志向が強まり販売競争が激化する市場環境のもと、原材料価格の高騰やエネルギーコスト、物流コスト及び人件費の上昇が見込まれ、今後も経営環境は厳しさを増すものと予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、生産・販売が一体となり各部門の小委員会活動を活用して製品施策・営業戦略を着実かつ迅速に実践・実行・実証するとともに、「なぜなぜ分析」を推進して業務の効率化と、安全安心な職場づくりの両立といった内部管理の充実に取り組みつつ、経営課題に着実に対処し、業績向上に努めてまいります。

なお、2025年3月期通期に関する業績予想につきましては、2024年5月14日に公表した内容から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,539,195	2,130,710
受取手形及び売掛金	2,595,120	2,140,506
商品及び製品	48,725	51,967
仕掛品	27,511	29,646
原材料及び貯蔵品	246,352	258,983
その他	65,730	80,618
貸倒引当金	△79	△46
流動資産合計	4,522,558	4,692,386
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,251,016	2,235,171
機械及び装置（純額）	1,474,509	1,399,988
土地	4,662,405	4,662,405
その他（純額）	399,625	366,012
有形固定資産合計	8,787,556	8,663,577
無形固定資産		
その他	62,174	54,481
無形固定資産合計	62,174	54,481
投資その他の資産		
投資有価証券	703,171	637,545
投資不動産（純額）	41,300	41,300
繰延税金資産	81,313	111,018
その他	20,103	19,996
貸倒引当金	△3,627	△3,470
投資その他の資産合計	842,261	806,390
固定資産合計	9,691,992	9,524,449
資産合計	14,214,550	14,216,835

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,110,339	2,130,410
短期借入金	550,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	887,000	753,000
未払法人税等	46,579	92,242
賞与引当金	173,259	198,715
その他	1,412,800	1,045,239
流動負債合計	5,179,978	4,769,606
固定負債		
長期借入金	1,074,500	1,478,500
再評価に係る繰延税金負債	1,190,579	1,190,579
退職給付引当金	1,466,750	1,464,025
役員退職慰労引当金	102,942	85,608
その他	9,950	9,830
固定負債合計	3,844,722	4,228,543
負債合計	9,024,700	8,998,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	1,084,501	1,161,206
自己株式	△16,064	△16,248
株主資本合計	2,120,411	2,196,932
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	375,097	327,413
土地再評価差額金	2,694,340	2,694,340
評価・換算差額等合計	3,069,438	3,021,753
純資産合計	5,189,849	5,218,686
負債純資産合計	14,214,550	14,216,835

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	8,897,206	9,115,527
売上原価	6,402,687	6,567,984
売上総利益	2,494,518	2,547,543
販売費及び一般管理費		
販売費	1,853,554	1,926,788
一般管理費	425,777	437,804
販売費及び一般管理費合計	2,279,332	2,364,592
営業利益	215,186	182,950
営業外収益		
受取利息	7	89
受取配当金	10,187	10,628
受取賃貸料	4,023	4,847
受取保険金	915	134
その他	4,564	2,219
営業外収益合計	19,698	17,920
営業外費用		
支払利息	11,090	12,657
その他	0	0
営業外費用合計	11,090	12,657
経常利益	223,794	188,212
特別利益		
固定資産売却益	97	563
特別利益合計	97	563
特別損失		
固定資産売却損	20	-
固定資産除却損	4,434	14,215
特別損失合計	4,455	14,215
税引前中間純利益	219,436	174,560
法人税等	73,799	56,000
中間純利益	145,637	118,560

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

販売実績

販売実績を事業部門等別に示すと、次のとおりであります。

事業部門等の名称	前中間会計期間(千円)	当中間会計期間(千円)	前年同期比(%)
食パン	1,421,231	1,443,022	101.53
菓子パン	3,101,168	3,219,112	103.80
和菓子	1,681,564	1,683,018	100.09
洋菓子	465,492	490,000	105.27
調理パン・米飯類	2,035,347	2,092,856	102.83
その他(仕入商品)	192,402	187,515	97.46
合計	8,897,206	9,115,527	102.45